水質汚濁防止法

特定施設設置（使用、変更）届出書　記載例
－ 設置届（使用届）　編 －

【注意】

・本記載例は、記載方法の一例を示したものです。
　施設の仕様等によっては、記載事項の修正を求める場合があります。

・実際に届出をする際は、事前に御相談ください。

・提出部数は、正副２部となります。

・届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、設置のための行為（工事着手等）ができません。提出期日に御注意ください。

・手続きが遅延した場合、「遅延理由書」等を添付していただく場合があります。

※本記載例は、特定施設の設置届（または使用届）に関する一例です。
※使用届について
　既に設置済の施設が、法の改正によって新たに特定施設になった場合は
　設置届ではなく、使用届として届出を提出します。

平塚市 環境部 環境保全課

（最終更新：令和６年１２月）

様式第１（第３条関係）（表面）

①

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

②

令和○年　○月　○日

平塚市長　殿

③

住　　所　神奈川県平塚市○○町１－１

届出者 名称及び代表者氏名　○○工業株式会社　代表取締役　○○　○○

電話番号　XXXX-XX-XXXX

①

水質汚濁防止法第５条第１項~~、第２項又は第３項（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		④ ○○工業株式会社　平塚工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		平塚市○○町×-× ⑤	※受理年月日	年　月　日
第５条第１項関係	特定施設の種類	65　酸又はアルカリによる表面処理施設（1台） ⑥	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☑　無 □ ⑦	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備考 ⑦	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	~~別紙５のとおり。~~		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	~~別紙７のとおり。~~		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	~~別紙８のとおり。~~		
	△汚水等の処理の方法	~~別紙９のとおり。~~		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	~~別紙10のとおり。~~		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	~~別紙11のとおり。~~		

記載の流れ（様式第一：表面）

① 届出の名称、根拠条文等の選択

届け出る内容に該当しない字句は、削除せず二重取消線で抹消します。

・特定施設・有害物質貯蔵指定施設の選択

--- 有害物質使用特定施設の場合は、特定施設を選択します。

・設置・使用・変更と条項の対応

--- 設置：第５条第１項、　使用：第６条、　変更：第７条

② 届出日

市に提出し、正式に受理された日の日付を記載します。

内容に不備がある場合には受理できない可能性がありますので、

空欄のまま窓口に持参しても問題ありません。

③ 届出者情報

氏名、住所及び電話番号を記載します。

法人にあっては、特定事業場の管理責任を負う代表者（代表取締役や工場長など）が所属する住所、社名及び代表者の職氏名を記載します。

④ 工場又は事業所の名称

届出施設を設置している特定事業場の名称を記載します。

⑤ 工場又は事業所の所在地

届出施設を設置している特定事業場の所在地を記載します。

地番から住居表示に改めた場合も含め、前回の届出内容から変更がある場合には、

こちらの届出の前に、所在地変更に関する「氏名等変更届」の提出が必要です。

⑥ 特定施設の種類及び台数

今回届出する特定施設について、水質汚濁防止法施行令 別表第一に掲げる項番号・施設名称とその台数を記載します。

⑦ 有害物質の使用の有無

⑥で記載した特定施設において、水質汚濁防止法上の有害物質の使用有無を選択する。

有害物質の使用「無」の場合は、「別紙1の2のとおり」の欄を斜線で取り消す。

※有害物質の種類は、水質汚濁防止法施行令第２条で規定

様式第１　（裏面）

<table>
<tr><td rowspan="5">第５条第３項関係</td><td>有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別</td><td>□　有害物質使用特定施設
□　有害物質貯蔵指定施設</td><td rowspan="5">⑧</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造</td><td>別紙12のとおり。</td></tr>
<tr><td>△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備</td><td>別紙13のとおり。</td></tr>
<tr><td>△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法</td><td>別紙14のとおり。</td></tr>
<tr><td>△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統</td><td>別紙15のとおり。</td></tr>
</table>

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限つて欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

記載の流れ（様式第一：裏面）

⑧　第５条第３項関係の取消し
第５条第３項関係の項目をすべて車線で取り消します。
※今回設置を行う施設が、「下水道合流地域における有害物質使用特定施設」または「有害物質貯蔵指定施設」である場合は、第５条第３項関係に該当するため、⑧を取り消さずに第５条第１項関係を取り消します。

※　欄外の備考についても、事前に確認しておきましょう。

別紙１

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	表面処理H-1		①
特定施設号番号及び名称	65　酸又はアルカリによる 表面処理施設		②
型　　式	○○社製 噴流式表面処理装置 型式：XX-000HS		③
構　　造	ステンレス製 構造図：添付○のとおり		④
主　要　寸　法	700*500*1200［mm］		
能　　力	○○枚/h		⑤
配　　置	○○棟３階 配置図：添付○のとおり		⑥
設　置　年　月　日	年　　月　　日	年　　月　　日	
工事着手予定年月日	令和　○年　○月　○日	年　　月　　日	⑦
工事完成予定年月日	令和　○年　○月　○日	年　　月　　日	
使用開始予定年月日	令和　○年　○月　○日	年　　月　　日	
その他参考となるべき事項	新設		⑧

備考　１　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

２　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

記載の流れ（別紙１）

※今回は、特定施設を１台設置する場合の例です。
※複数台の設置に関して同時に届け出る場合は、右列に２台目の情報を記載します。
３台以上の届出で列が不足する場合は、複数ページに分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）
特定事業場で用いている施設の名称を記載します。
複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 特定施設項番号・種類
水質汚濁防止法施行令別表第一における項番号及び種類を記載します。

③ 型式
具体的な装置名・型番、製造会社名等を記載します。

④ 構造
施設の材質等を記載します。さらに、構造を説明する図面を添付します。

⑤ 能力
施設の仕様上の生産能力、処理能力、出力、容量等を記載します。
仕様書等の根拠が確認できる資料も添付します。

⑥ 配置
施設の設置場所を記載します。さらに、設置場所を説明する図面を添付します。
図面では、接続する用水と排水の経路も示します。

⑦ 設置年月日等
新設の場合は、設置年月日は記載不要です。
工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。
【手続遅延の場合の注意】３か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

⑧ その他参考となるべき事項
新設である旨など、その他の言及しておく事項があれば記載します。

別紙１の２

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	表面処理H-1		
特定施設号番号及び名称	65　酸又はアルカリによる 表面処理施設		
設　　備	・地上配管 ・溜枡No.１ ・防液提		①
構　　造	・地上配管 塩ビ製 ・溜枡No.１ コンクリート製+樹脂被覆 （添付〇のとおり） ・防液提 FRP製（添付〇のとおり）		②
主　要　寸　法	・地上配管　50A ＊ 40m ・溜枡No.１　A ＊ B ＊ C m ・防液提　A ＊ B ＊ C m(外寸) 厚さ X m		
配　　置	〇〇棟３階 配置図：添付〇のとおり		③
設　置　年　月　日	年　　月　　日	年　　月　　日	
工事着手予定年月日	令和 〇年　〇月　〇日	年　　月　　日	
工事完成予定年月日	令和 〇年　〇月　〇日	年　　月　　日	
使用開始予定年月日	令和 〇年　〇月　〇日	年　　月　　日	
その他参考となるべき事項	床面：コンクリート+被覆 床面被覆範囲：添付〇のとおり 床面被覆仕様：添付〇のとおり		④

備考　１　有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

２　配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

記載の流れ（別紙１の２）

※別紙1の2は、「有害物質使用特定施設」の場合のみ提出が必要な様式です。
　特定施設が有害物質を使用しない場合は、添付不要です。

①　設備
　特定施設に付帯する設備を記載します。
　設備には、配管等・排水溝等・地下貯蔵施設・床面（防液提）などが該当します。
　※配管は地上配管か、地下配管（トレンチ配管）かを明記します。

②　構造
　設備ごとの材質等を記載します。
　さらに、溜桝や防液提等については、構造を説明する図面を添付します。

③　配置
　設備の設置場所を記載します。さらに、設置場所を示す図面を添付します。

④　その他参考となるべき事項
　特定施設本体周辺の床面について、使用している有害物質の漏洩防止対策として、何らかの被覆処理等を実施している場合は、その床面の被覆範囲と被覆材の仕様を記載します。
　仕様については、被覆材のカタログ等により使用する有害物質に耐性があることを示します。

※有害物質使用特定施設の構造等に関する基準について

　平成24年の水質汚濁防止法改正により、有害物質使用特定施設に対する以下の６項目について、構造等に関する基準及び定期点検義務が規定されました。
　なお、法改正以前に設置した特定施設と、法改正後に新設する特定施設では基準が異なります。（新設の特定施設にはＡ基準が適用されます。）

［対象項目］

①施設床面及び周囲　②施設本体　③地上配管
④地下配管　⑤排水溝等　⑥地下貯蔵施設

別紙２

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		表面処理H-1				
特定施設号番号及び名称		65　酸又はアルカリによる表面処理施設				
設置場所		○○棟３階 配置図：添付○のとおり				
操業の系統		試料の金属表面処理作業 （添付○のとおり）				①
使用時間間隔		9：00～20：00				②
1日当たりの使用時間		3時間				③
使用の季節的変動		なし				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		[前処理工程：脱脂] ・アルカリ系脱脂剤：XX mg/日 （SDS：添付○のとおり） ※有害物質を含まない [表面処理工程] ・硝酸：XX mg/日 ・クロム酸：XX mg/日 （六価クロム含む） [試料材料] ・鋼板：100kg（20kg ＊ 5枚程度）				④
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	
	pH BOD COD SS n-ヘキサン抽出物質（鉱油類） 硝酸性窒素 六価クロム クロム [単位：mg/L pH除く]	6.0～8.0 10 10 20 2 10 5 5	5.5～8.0 20 20 30 5 30 10 10			⑤
汚水等の量（m^3／日）		通常	最大	通常	最大	
		2.0	4.0			⑥
その他参考となるべき事項		濃厚廃液は、直接産廃回収。 洗浄排水は、排水処理施設Aで処理後、排出口No.1から排出				⑦

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記載の流れ（別紙２）

① 操業の系統

事業所の操業の系統のうち、対象の特定施設が関係する一系統について、操業の系統図を添付して示します。

（例）操業の系統図：特定施設で製品を製造している場合

材料納品 ⇒ 材料水洗浄 ⇒ 表面処理 ⇒ 形状加工 ⇒ 検査 ⇒ 出荷

（特定施設：表面処理H-1）

⇒ 排水 ⇒ 排水処理施設へ

② 使用時間間隔

特定施設を使用する時間帯を記載します。

③ 1日当たりの使用時間

②に記載した時間帯の中で、特定施設を何時間使用するかを記載します。

④ 原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設で使用する原材料について、種類、使用方法、使用量を記載します。

・商品名などで記載し、成分が読み取れないものについては、SDSを添付した上で、有害物質の有無を記載します。

※「硝酸」などの単体物質については、SDSの添付は不要です。

・使用量に関して、一定期間毎に補充するものなどは日割計算した値で記載します。

⑤ 汚水等の汚染状態

特定施設の排水口におけるpH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質などの生活環境項目について濃度を記載します。

さらに、有害物質を使用している場合には、有害物質についても濃度を記載します。

・n-ヘキサン抽出物質については、（動植物油脂類）と（鉱油類）のどちらに該当するかを記載します。

⑥ 汚水等の量

特定施設からの排水量を、通常時、最大時に分けて記載します。

⑦ その他参考となるべき事項

特定施設の排水が、事業所敷地外に排出されるまでの概要を記載します。

別紙３

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設A		①
処理施設の設置場所	**〇〇棟東側屋外** **配置図：添付〇のとおり**		
設　置　年　月　日	年　　月　　日		
工事着手予定年月日	令和 〇年　〇月　〇日		
工事完成予定年月日	令和 〇年　〇月　〇日		
使用開始予定年月日	令和 〇年　〇月　〇日		
種 類 及 び 型 式	(株)〇〇社製　中和処理装置		
構　　造	FRP製（添付〇のとおり）		②
主　要　寸　法	A ＊ B ＊ C m		
能　　力	500㎥/日		
処　理　の　方　式	中和処理		③
処　理　の　系　統	添付〇のとおり		④
集水及び導水の方法	添付〇のとおり		⑤
使 用 時 間 間 隔	0：00～24：00		
1日当たりの使用時間	24時間		
使 用 の 季 節 変 動	なし		
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	（中和剤） 水酸化ナトリウム：200kg/日		

汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.0～8.0	6.5～7.5	5.5～8.0	6.5～7.5				
	BOD	10	10	20	20				
	COD	10	10	20	20				
	SS	20	20	30	30				
	n-ヘキサン抽出物質（鉱油類）	2	2	5	5				
	硝酸性窒素	10	5	30	10				
	六価クロム	5	1	10	1				
	クロム	5	1	10	1				
	［mg/L pH除く］								
	量(㎥／日)	20.0	20.0	30.0	30.0				

残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方	余剰汚泥：5kg/月 産業廃棄物として委託処理		⑥
排出水の排出方法	排出口No.1から公共下水道へ排出		⑦
その他参考となるべき事項	排水処理施設の新設		

備考　1　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2　排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

記載の流れ（別紙３）

※別紙３は、事業場内に設置しているすべての排水処理施設について記載する様式です。（届出を行う特定施設が接続しない排水処理施設も記載）
※別紙１～別紙２で説明した項目については、説明を省略しています。
※今回は、特定施設の新設に伴い、排水処理施設も新設する場合の例です。

① 工場又は事業場における施設番号
特定事業場で用いている排水処理施設の名称を記載します。
※特定施設の名称ではありませんので注意してください。

② 構造
排水処理施設の具体的な装置名・型番、製造会社名等を記載します。
さらに、構造を説明する図面を添付します。
また、設計計算書等の仕様が分かる資料もあわせて添付します。

③ 処理の方法
排水処理施設の処理方式を記載します。
［例］中和処理、曝気処理、沈殿処理　など

④ 処理の系統
排水処理施設の処理に関するフローチャートや、排水処理施設内での排水が流れる経路図など、流入した排水が排水処理施設内をどのように流れるのかを説明する図面を添付します。

⑤ 集水及び導水の系統
特定事業場の全体図をベースに、事業所のどこからどの経路で排水処理施設に接続しているか、さらに排水処理施設からの処理水がどの経路で敷地外に排出されるかを説明する図面（排水の系統図）を添付します。
※用水及び排水の系統図について
経路を簡略化せず、実際の配管経路と一致するように記載します。
配管経路に変更（あるいは届出記載誤り）があった場合、再度変更届による、用排水系統の変更手続きが必要となります。
「別紙１⑥配置」の添付図についても同様です。

⑥ 残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法
排水処理施設において、残さが発生する場合、種類、量及び処理方法を記載します。

⑦ 排出水の排出方法
排水処理施設からの処理水が、事業所敷地外に排出されるまでの概要を記載します。

別紙４

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口No.１		雨水口No.１		①
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	
	pH BOD COD SS n-ヘキサン抽出物質（鉱油類） 硝酸性窒素 六価クロム クロム ［単位：mg/L pH除く］	6.5～7.5 10 10 20 2 5 1 1	6.5～7.5 20 20 30 5 10 1 1	－	－	②
排出水の量（m³／日）		通常	最大	通常	最大	
		25.0	35.0	0	0	③
その他参考となるべき事項		工業排水+生活排水		雨水のみ		④

備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記載の流れ（別紙４）

※別紙４は、事業場内に設置しているすべての排出口について記載する様式です。（届出を行う特定施設が接続しない排出口も記載）

① 工場又は事業場における施設番号

特定事業場で用いている排出口の名称を、公共下水道接続、公共用水域接続のどちらの場合でも記載します。

・雨水のみを排出する排出口（雨水口）についても記載します。

※特定施設の名称ではありませんので注意してください。

② 排出水の汚染状態

各排水口におけるpH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質などの生活環境項目について濃度を記載します。

・雨水のみを排出する排出口については、記載不要です。

③ 排出水の量

各排出口における排出水の量を記載します。

・雨水のみを排出する排出口については、[通常：0]、[最大：0]で記載します。

④ その他参考となるべき事項

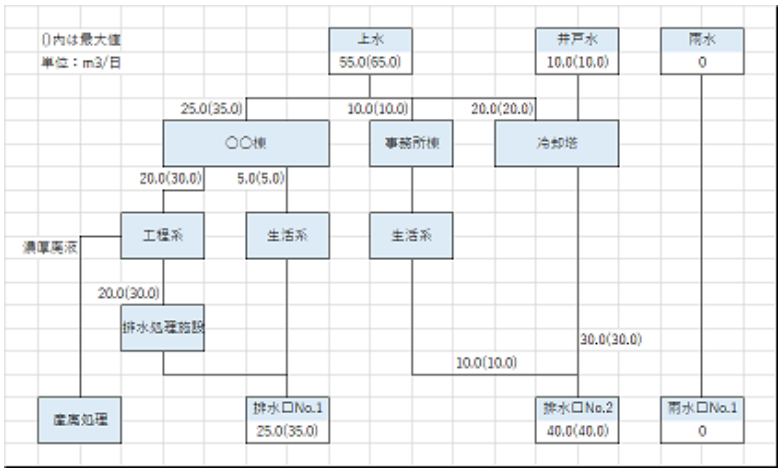
排出する排水の概要等を記載します。

別紙６

用水及び排水の系統

<table>
<tr><td>用水及び排水の系統</td><td colspan="3">・用水及び排水の系統図
変更前：添付〇のとおり

・バランスシート

 
</td></tr>
<tr><td rowspan="7">用途別用水使用量</td><td>用　　途</td><td>使　　用　　水</td><td>用水使用量(m³／日)</td></tr>
<tr><td>工程系（製造）</td><td>上水</td><td>20.0（30.0）</td></tr>
<tr><td>工程系（冷却）</td><td>井戸水+上水</td><td>30.0（30.0）</td></tr>
<tr><td>生活系</td><td>上水</td><td>15.0（15.0）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

①

②

記載の流れ（別紙６）

※別紙６は、事業場内の用排水系統について記載する様式です。

①　用水及び排水の系統

・用水及び排水の系統図

特定事業場の配置図などを基に、事業場全体の用水（上水、井水など）及び排水（生活排水、雨水含む）の配管の系統を説明する図面を添付します。

・各排出口の位置、名称も明示します。

・建屋の屋内については、省略しても構いません。

ただし、届出を行う特定施設から建屋外までの用排水経路は個別に添付してください。

・バランスシート

フローチャート等により、特定事業場全体の水量の流れを記載します。

・水量は通常と最大が分かるように記載します。

※様式の枠内に収まらない場合は、添付番号を示して別添とすることも可能です。

②　用途別用水使用量

用水の使用状況を用途、市用水の種類別に記載します。

記載内容と①のバランスシートの間で整合がとれていることを確認してください。

1　添付図面等一覧

①

No	名　　称
	特定施設の構造
添付〇	特定施設の構造図
添付〇	特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図
	特定施設の使用の方法
添付〇	特定施設の設置場所
添付〇	特定施設を含む操業の系統
	汚水等の処理の方法等
	汚水等の処理施設の設置場所 汚水等の処理施設までの集水及び導水の方法 排出水の排出方法 （以上の４項目は一図に示す。）
添付〇	汚水等の処理施設の構造図
添付〇	汚水等の処理施設の配置図
添付〇	汚水等の処理の系統
添付〇	汚水等の処理施設の設計計算書
添付〇	用水及び排水の系統
添付〇	その他、案内図

2　届出理由

②

・特定施設の設置
65 酸又はアルカリによる表面処理施設　1 台
表面処理施設 H-1（〇〇棟 3 階）
平塚工場開設に伴い、業務に必要な特定施設を設置する

工事着手予定年月日：令和〇年〇月〇日
使用開始予定年月日：令和〇年〇月〇日

3　他法令による許可・届出の状況（手続）

県生活環境の保全等に関する条例	不要・未了・完了
下水道法	不要・未了・完了
騒音規制法	不要・未了・完了
大気汚染防止法	不要・未了・完了

③

4　特定施設一覧表　④

施行令別表第１の番号	特　定　施　設　の　名　称	今回届出後の台数
65	酸又はアルカリによる表面処理施設	1（今回：変更 1 台）

5　工場等概要　⑤

資　本　金	千円	従業員数	人	業種(細分類)	
主 要 製 品				操業時間	時～　　時
用 途 地 域		敷地面積		建物面積	
担当部課係		担 当 者		電　　話	

記載の流れ（参考事項等）

※本様式は、平塚市の独自様式です。

① 添付図面等一覧

添付する図面等の目次として、対応する添付番号を記載します。

② 届出理由

記載例や以下の定型文を参考に、届出の全体概要及び理由を記載します。

［定型文］

・特定施設の設置

<<設置する特定施設の別表番号、種類および台数>>

<<設置する特定施設の名称>>

<<設置の理由>>

工事着手予定年月日：令和〇年～

使用開始予定年月日：令和〇年～

③ 他法令による許可・届出の状況（手続）

今回の届出に関連して他法令での手続きが発生するかについて、その状況を記載します。

④ 特定施設一覧表

特定事業場全体での特定施設の設置状況を記載します。

・設置や変更のある特定施設については、対象となる台数についても説明します。

⑤ 工場等概要

特定事業場に関する概要を記載します。

・業種（細分類）については、「日本標準産業分類」を基に、４桁の番号と名称を記載します。